

I 本校の概要

本校は、札幌市北区に位置し、知的障がい高等支援学校として平成28年（2016年）に開校した（現在、開校から7年目）。また、通学型の学校として、生徒は札幌市全域及び近隣の市や町から、徒歩やバス、電車で通学している。

設置学科は、生産技術科、被服デザイン科、食品デザイン科、福祉サービス科、環境・流通サポート科の5つの職業学科に加え、知的障がい高等支援学校で初めての普通科を設置しており、全6学科、全校生徒は全道の高等支援学校では最大の180名、教職員は94名である（令和5年3月1日時点）。

学校教育目標は、「Go For your dream『夢のためにベストを尽くす』～今の自分を超越、より高みを目指そう～」。校訓は「未来、チャレンジ、感謝」。目指す生徒像は、共生社会におけるシチズンシップを育むために、「人々の多様な在り方を尊重し、認め合う生徒」「お互いの考えや感情を大切にしながら、話し合う生徒」「他者の思いに感謝し、社会に貢献することを喜びと感じながら、助け合う生徒」「自分の言動（失敗）を真摯に反省し、繰り返さない意志と向上する意欲を持ち続けられる生徒」「社会の一員であることを意識し、責任を自覚し行動できる生徒」である。

○設置学科

生産技術科	被服デザイン科	食品デザイン科	福祉サービス科	環境・流通サポート科	普通科
					
木工製品、窯業製品の製作など	縫工、織物、染色など	パンや菓子の製造、縫工製品の製作	介護福祉 接客サービス	清掃などの環境整備、書類の丁合・製本作業	各教科で得た学びを生かし「総合的な探究の時間」を通して深める

○週時程表（1年生の例）

	月			火			水			木			金		
学科	技術 環境 被服	食品 福祉	普通	技術 環境 被服	食品 福祉	普通	技術 環境 被服	食品 福祉	普通	技術 環境 被服	食品 福祉	普通	技術 環境 被服	食品 福祉	普通
1	社会生活			作業学習		外国語	体力づくり			理科	外国語	国語	社会	数学	理科
2	体力づくり					情報	作業学習		総合	外国語	音楽	数学	家庭	国語	音楽
3	国語	音楽	美術			社会				体育	家庭	理科	美術	社会	体育
4	情報	数学				国語					国語	家庭		理科	
5	職業			数学	体育	音楽	音楽	美術	国語	作業学習		総合	数学	情報	社会
6	LHR			音楽		数学	国語		数学				LHR		

1 教育課程

教育課程の特徴としては、生徒一人一人の自立と社会参加に向け、職業学科においては、それぞれの学科の特色を生かした作業学習と教科別の指導、普通科においては総合的な探究の時間を中心に教科別の指導を行っている。

(1) 教科別の指導

教科別の指導は、「国語」、「社会」、「数学」、「理科」、「音楽」、「美術」、「保健体育」、「職業」、「家庭」、「情報」、「外国語」を設定し、学ぶ楽しさを体感し自ら課題を見つけ、考え、行動し、努力し続けることができる生徒を育てるために、生活に即した活動を十分に取り入れつつ、各教科の特色を生かした指導を行っている。

(2) 道徳科、特別活動、自立活動の指導

「道徳科」については、合わせた指導である「社会生活」で主に指導している。

「特別活動」は、「LHR（ホームルーム活動）」、「生徒会活動（委員会）」「学校行事（学校祭、宿泊行事）」等を行っている。

「自立活動」に関しては、「自立活動の時間における指導」は行っておらず、各教科等を合わせた指導である「社会生活」、「作業学習」、「体力づくり」と合わせて指導している他、教科別の指導等においても自立活動の評価をし、教育活動全体を通して総合的に指導、評価をしている。

(3) 総合的な探究の時間

普通科では、「総合的な探究の時間」を教育課程の中心とし、「調査、研究、発表」、「ワークシステム」、「インターンシップ」等に取り組む中で、各教科等で学んだことを総合的に生かすと共に、習得、探究、活用のサイクルで学びを深めるための取組を行っている。

職業学科では、学校祭などの学校行事や産業現場等における実習（以下、現場実習）の単位の中で探究活動に取り組んでいる。

(4) 各教科等を合わせた指導

○作業学習

職業学科においては、「専門教科（家政、工業、流通、福祉）」、「自立活動」等を合わせた指導として「作業学習」を行っている。

※設置学科については、上記参照

○社会生活

生徒が自己の生活や感情、行動などをセルフコントロールする力を身に付けることを目指し、「道徳」と「自立活動」を合わせた「社会生活」という授業を行っており、生徒の実態に応じて、題材設定やグループ編制等を工夫している。

○体力づくり

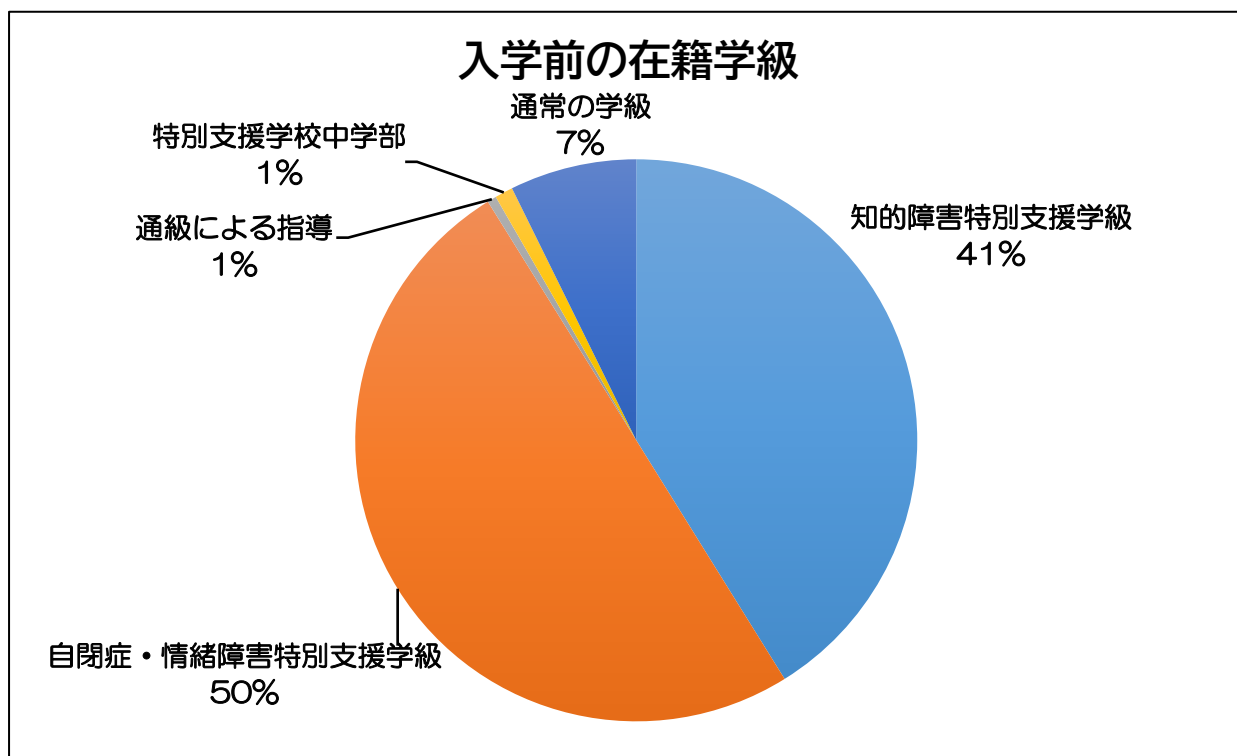
運動する習慣を身に付けることを目指すと共に、適切に目標を設定し努力する力や、多くの人と関わり合いながら運動を楽しむ力を身に付けることができるよう「体育」と「自立活動」を合わせた指導として行っている。

2 在籍する生徒について

(1) 入学前の在籍学級

入学する大半の生徒は、中学校では知的障害特別支援学級、または自閉症・情緒障害特別支援学級に在籍し、その他に通常の学級、特別支援学校中学部に在籍していた生徒もいる。

また、知的障害の他に、自閉症スペクトラムや ADHD などの発達障害、肢体不自由を併せ有するなど、一人一人の障害種やその程度は様々である。



令和2年度～4年度の入学生（全 192 名）の入学前の在籍学級

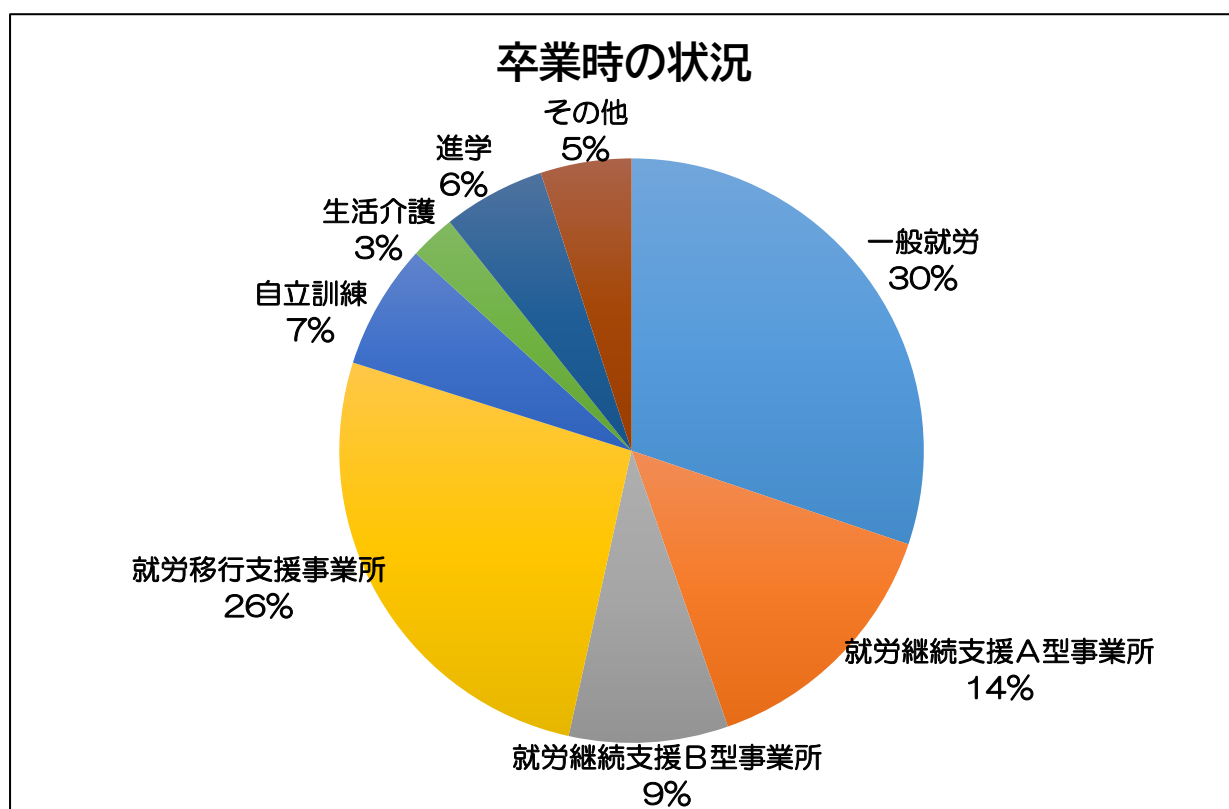
在籍学級等	合計人数と内訳（2年度、3年度、4年度）
知的障害特別支援学級	79名（22、24、33）
自閉症・情緒障害特別支援学級	96名（36、26、34）
特別支援学校中学部	2名（0、1、1）
通級による指導	1名（0、1、0）
通常の学級	14名（6、4、4）

※各年度の入学時の合計人数は、2年度64名、3年度56名、4年度72名。

（２）卒業後の状況

在学時は、１学年・３学年は年１回、２学年は年２回の「現場実習」及び「校内実習」など、各教科等の学びに加え、実際に働く体験を通して、自らの持っている力を高めるとともに、自己理解を進め、卒業後の仕事や生活の場を自己選択、自己決定できるよう進路指導を進めている。

その結果、一般就労、就労継続支援Ａ型事業所、就労移行支援事業所、就労継続支援Ｂ型事業所、自立訓練、進学など、職業学科、普通科に関係なく、生徒自身が「自分に合っている」、「ここで挑戦したい」など、一人一人の学んだことや思いを大切にしながら、幅広い進路先を実現している。



令和２年度（１期生）～４年度（４期生）の卒業生（全１８９名）の卒業時の就労状況

形態	合計人数と内訳（１期生、２期生、３期生、４期生）
一般就労	４８名（５、２７、８、８）
就労継続支援Ａ型事業所	２３名（４、３、８、８）
就労継続支援Ｂ型事業所	４４名（１１、１１、８、１４）
就労移行支援事業所	４２名（９、８、１５、１０）
自立訓練	１１名（２、２、４、３）
生活介護	４名（１、２、１、０）
進学	９名（０、１、４、４）
その他	８名（０、３、０、５）

※各学年の合計人数は、１期生３２名、２期生５７名、３期生４８名、４期生５２名。

※その他に関しては、自衛隊や高校進学、卒業時に進路先が決まっていない生徒を指している。